



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月3日

上場会社名 株式会社 あみやき亭  
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東 名

TEL 0568-32-8800

平成23年12月9日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,728	△3.2	603	△47.1	671	△42.0	280	△56.2
23年3月期第2四半期	11,080	—	1,140	—	1,158	—	638	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 279百万円 (△56.0%) 23年3月期第2四半期 637百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4,089.76	—
23年3月期第2四半期	9,327.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
24年3月期第2四半期	14,246	—	11,542	—	81.0	—	168,533.60	
23年3月期	14,530	—	11,365	—	78.2	—	165,946.08	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,542百万円 23年3月期 11,365百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
24年3月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
24年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,773	△2.6	1,209	△44.8	1,319	△41.1	587	△45.2	8,570.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年10月3日)公表いたしました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

連結業績予想の修正については、本日(平成23年10月3日)公表いたしました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	68,488 株	23年3月期	68,488 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	ー 株	23年3月期	ー 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	68,488 株	23年3月期2Q	68,488 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連に関する事項については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は平成22年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成したため、平成23年3月期第2四半期連結会計期間における対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州や米国の経済不安等に伴う円高傾向による企業業績の下振れ懸念と国内株式の低迷、先の東日本大震災及び福島第一原発事故による社会的インフラへの直接的被害のみならず、いわゆる自粛ムードや風評被害などによる消費低迷など先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましても、東日本大震災の影響などにより雇用環境・所得への不安が一層高まり、生活防衛意識は更に強くなっているところに、電力供給懸念に伴う産業界の休日変更、ユッケ食中毒事件の発生や福島第一原発事故に伴うセシウム汚染稲わら給餌牛による焼肉業界への消費者の不信感などから、取り巻く経営環境は、極めて厳しい状況となっております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、食の安全性に対する信頼回復のため、全頭自主検査の実施や自社での細菌検査強化などの衛生管理強化を図り、また、商品品質の一層の磨き込みに努めるとともにパート・アルバイトの接客・サービス力の向上に努めるなどお客様に安心してお食事をしていただき、喜んでいただく店舗作りを行ってまいりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、あみやき亭1店舗（北方店）、美濃路4店舗（砂田橋店、津島店、豊川店、大垣店）、スエヒロ館2店舗（武蔵村山店、梅島店）を新規出店し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は182店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、10,728百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益603百万円（前年同期比47.1%減）、経常利益671百万円（前年同期比42.0%減）、四半期純利益280百万円（前年同期比56.2%減）となりました。

また、株式会社あみやき亭単体の当第2四半期累計期間の業績は、売上高9,372百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益727百万円（前年同期比33.6%減）、経常利益773百万円（前年同期比31.9%減）、四半期純利益424百万円（前年同期比28.8%減）と減収減益となりました。

### <焼肉事業>

焼肉事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、2店舗新規出店し、1店舗（小田原店）業態変更（レストラン業態へ）した結果、116店舗となりました。内訳は、あみやき亭97店舗、かるび家6店舗、スエヒロ館13店舗であります。

焼肉事業では、当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」の提供に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する「スエヒロ館」につきましては、「かるび家」からの業態変更と新規出店を行っており、「食肉の専門集団」である強みを活かして「チェーン店価格」で和牛中心の商品を提供しております。

以上の結果、焼肉事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,265百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

### <焼鳥事業>

焼鳥事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、57店舗です。焼鳥事業はすべて「元祖やきとり家美濃路」で展開しております。

焼鳥事業におきまして、焼き師認定制度を活用した炭火で1本1本手焼きする「焼き」の技術向上に努めるとともに、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの提供に努めました。

また、店舗運営向上策といたしまして、店長育成プログラムを刷新し、接客・サービスのレベル向上に向けた社員教育の取組みを行ってまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,064百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

### <その他の事業>

その他の事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、9店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」6店舗（うち、小田原店は改装休業中）、居酒屋「楽市」3店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした低価格の「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、品質の向上に努めてまいりました。

また、居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、384百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

なお、各事業部への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、14,246百万円となり、前連結会計年度末と比較し284百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は2,703百万円となり、前連結会計年度末と比較し、461百万円減少いたしました。

主な要因は未払法人税等の減少によるものであります。

純資産総額は、11,542百万円となり、前連結会計年度末と比較し177百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月4日に公表いたしました当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績に差異が発生し、平成24年3月期通期連結業績予想につきましても、業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成23年10月3日付「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,124	5,324
預け金	61	63
売掛金	2	1
商品及び製品	37	42
原材料及び貯蔵品	123	131
繰延税金資産	114	86
その他	220	224
流動資産合計	6,683	5,874
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,540	4,921
構築物（純額）	366	420
機械及び装置（純額）	178	214
車両運搬具（純額）	4	3
工具、器具及び備品（純額）	198	221
土地	489	489
建設仮勘定	72	55
有形固定資産合計	5,851	6,327
無形固定資産		
ソフトウェア	11	8
その他	45	50
無形固定資産合計	57	58
投資その他の資産		
投資有価証券	9	8
長期貸付金	263	259
繰延税金資産	205	222
差入保証金	999	1,012
その他	460	481
投資その他の資産合計	1,938	1,985
固定資産合計	7,847	8,372
資産合計	14,530	14,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	818	660
未払金及び未払費用	995	999
未払法人税等	590	351
引当金	158	144
その他	282	202
流動負債合計	2,846	2,358
固定負債		
負ののれん	0	0
繰延税金負債	17	22
資産除去債務	224	240
その他	76	81
固定負債合計	318	345
負債合計	3,165	2,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	6,467	6,644
株主資本合計	11,368	11,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△2	△2
純資産合計	11,365	11,542
負債純資産合計	14,530	14,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	11,080	10,728
売上原価	4,039	4,124
売上総利益	7,040	6,603
販売費及び一般管理費	5,900	6,000
営業利益	1,140	603
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	0	0
協賛金収入	5	46
その他	5	13
営業外収益合計	19	67
営業外費用		
その他	2	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	1,158	671
特別利益		
受取保険金	2	1
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7	—
特別利益合計	9	1
特別損失		
固定資産除却損	34	46
投資有価証券評価損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	89	—
特別損失合計	123	46
税金等調整前四半期純利益	1,044	625
法人税、住民税及び事業税	477	329
法人税等調整額	2	15
法人税等還付税額	△73	—
法人税等合計	405	345
少数株主損益調整前四半期純利益	638	280
四半期純利益	638	280

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	638	280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△0
四半期包括利益	637	279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637	279

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。